



全国調査から分析 今の子どもは体力は？



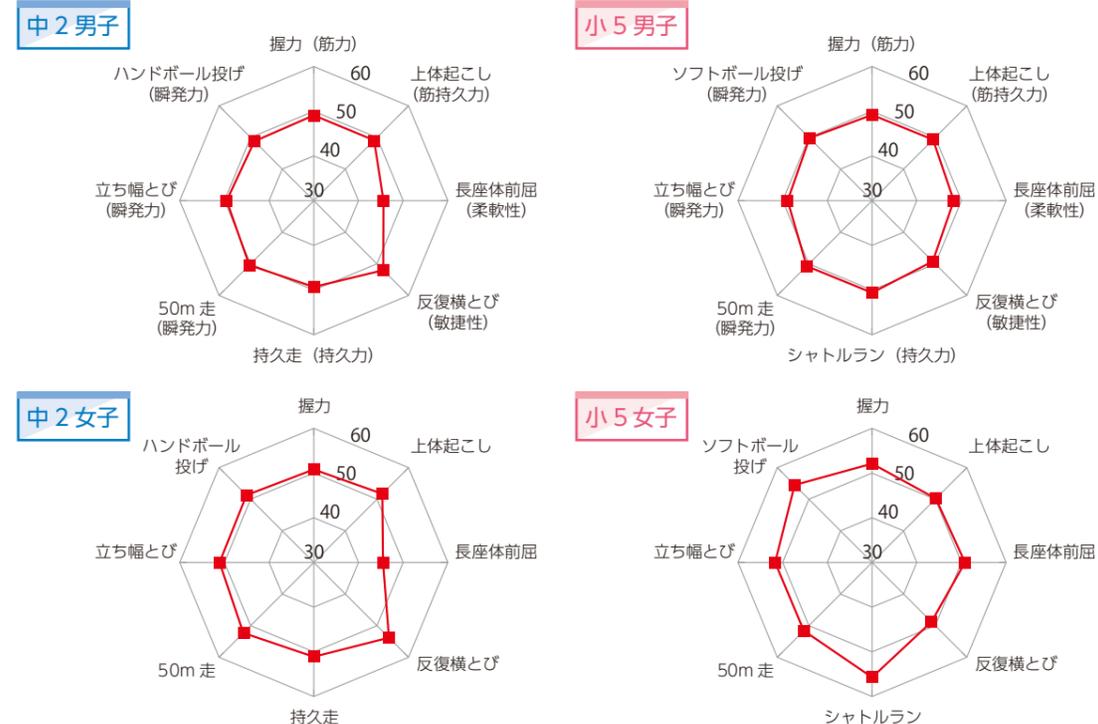
全国の小学5年生と中学2年生を対象とした「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が昨年4月から7月にかけて実施されました。内容は、握力や上体起こし、ボール投げ、持久走など8種目の実技と運動や生活習慣などに関する調査です。今月は調査結果をもとに、宍粟の子どもの体力の実態についてお知らせします。

実技調査の結果 「柔軟性」に課題残る

実技調査(グラフ1参照)では、小中学校ともに男女で差が見られました。男子は小中学校とも2種目で全国平均を上回りました。一方、女子は小学校が5種目、中学校が7種目で全国平均を上回りました。種目別では、50メートル走が小中学校において男女ともに全国平均を上回り、反復横とびや持久走も全国とほぼ同程度か上回る結果となりました。

総合的にみると、瞬発力や俊敏性、持久力には優れているものの、前回に続き柔軟性(長座体前屈)に課題が残りました。引き続き、子どもたちが運動に取り組み「しーたんチャレンジ」などの時間を活用して、課題の克服や体力の向上をめざします。

グラフ1 実技調査の結果

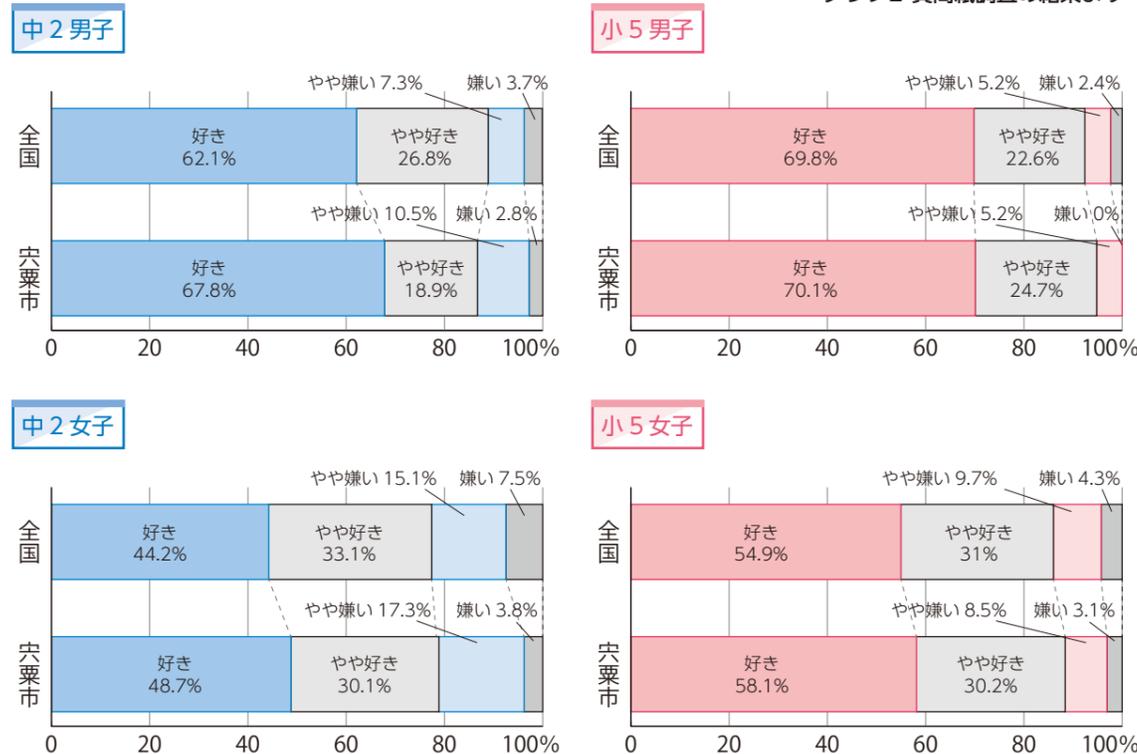


運動好き？睡眠時間は？ 回答結果は良好

質問紙調査で「運動やスポーツが好きか」の質問に「好き」と答えた子どもは、小中学校ともに全国より高い結果となりました(グラフ2参照)。中学校男子では、前年度より「やや嫌い」と答えた子どもの割合が4.5ポイント増えましたが、結果からは多くの子どもたちが体育の授業や運動を楽しんでいることがわかります。

1日の睡眠時間の調査では、中学生は9割以上の生徒が6時間以上の睡眠を取っていることに加え、睡眠時間が6時間未満の生徒の割合も前年度より4ポイント減るなど改善がみられました。小学生は7割の児童が8時間以上の睡眠を取っており、前年と比較して、ほぼ同様の結果となりました。

グラフ2 質問紙調査の結果より



Q 運動やスポーツをすることは好きですか？

学校での新たな取り組み



体育教諭の指導を受ける千種小の児童ら

◆運動にもICT機器を活用
学校では教室での授業だけでなく、運動にもタブレット端末を活用しています。体育の授業で、子どもたちがダンスの動きを手本の動画で確認したり、お互いの動きを撮影し合い、振り返りをしたりするなど、自らの学びにもつなげていきます。

◆千種で、小中一貫、生かした指導
千種小学校の3～6年生の体育では、主に千種中学校の体育教諭が指導をしています。昨年4月に併設型小中一貫校「千種学園」となったことで、相互の交流が進み、小学校の授業に専門的な指導を取り入れることができています。また、小学校教諭が体育教諭の研修を受けるなど、子どもたちの体力向上に向け、指導面でのスキルアップにも取り組んでいます。